

## NEWS RELEASE

2016年11月10日

J I T S U B O株式会社  
ヘプタレス・セラピューティクス

### 重篤な消化管障害を適用としたペプチド医薬品開発にむけ、 Heptares と新規 GPCR をターゲットとした研究開発を開始

JITSUBO 株式会社（本社：東京都小金井市、代表取締役社長：河野 悠介、以下、「JITSUBO」）と Heptares Therapeutics（ヘプタレス・セラピューティクス、本社：英国ハートフォードシャー、CEO：Malcolm Weir、以下、「Heptares」）は、重篤な消化管障害に関連があるとされている Gタンパク質共役受容体（GPCR）をターゲットとした新規ペプチド治療薬の開発にむけて、コラボレーションを開始いたしましたので、お知らせいたします。これは当社親会社であるそーせいグループ株式会社の子会社間で初となる戦略的なコラボレーションであり、両社が有する相互補完的な技術を活用することで、アンメットメディカルニーズのある疾患に対する画期的な治療薬を創出することを目的としています。

本共同研究において、JITSUBO は同社と Heptares が選択した GPCR ターゲットに対するペプチド医薬品の創薬に向けて、Peptune™技術及び Molecular Hiving™技術に基づくペプチド設計及び製造技術を応用します。Heptares は、選択された GPCR の 3次元構造について、独自の StaR®技術プラットフォームに基づく高度な見識を有しています。ターゲットとなる GPCR は消化管障害において重要な役割を果たすものであり、現在、既に研究段階にあります。Heptares は、この共同研究から生み出された全てのペプチド医薬品候補薬の開発及び商業化を担い、予め両社で合意したマイルストーン達成に応じて JITSUBO に所定のマイルストーンを支払います。更に Heptares は、将来商品化された製品について、売上高に応じたロイヤリティも支払うこととなります。

本コラボレーションについて、これ以上の詳細は非開示とさせていただきます。

JITSUBO の代表取締役 CEO、共同創業者である河野悠介氏は次のように述べています。「Heptares の StaR®タンパクは、JITSUBO 独自のペプチド設計・製造技術を応用できる理想的なモデルです。同社とこのような形で初めて共同研究を行うことを嬉しく思います。この研究により、重要なタンパク質受容体をターゲットとした革新的で高い選択性をもつペプチド医薬品の創造に向け、両社の技術プラットフォームを組み合わせることにより、重要なタンパク質受容



体をターゲットとした革新的で高い選択性をもつペプチド医薬品の創製につなげることができると期待しています。」

Heptares のチーフ・サイエンティフィック・オフィサー、Fiona Marshall 氏は次のように述べています。「疾患における役割が生物学的及び臨床的に十分に検証されている GPCR は多数存在しており、これらの GPCR の機能はペプチドによって調節することができます。Heptares と JITSUBO が相互補完的な技術プラットフォームを持ち寄り実施するこのたびの共同研究は、Heptares にとって革新的な低分子治療薬及び生物学的製剤から成る自社パイプラインを拡大させる絶好の機会となります。このたびの共同研究において、Heptares が自社で開発を進めることが可能な新薬候補が創出されることを強く願っております。」

また、そーせいグループ代表執行役 CEO、Peter Bains は次のように付け加えます。「当社はここ数年に渡り、M&A により強固な技術基盤を築き、当社独自のパイプラインに新薬候補を継続的に加える為にこれらの技術を活用することに注力してまいりました。このたびの Heptares と JITSUBO のコラボレーションが実現し、画期的な技術プラットフォームを相互補完することができることを証明できたことを大変喜ばしく感じています。これから先もこの取り組みに期待しています。」

以 上

### JITSUBO 株式会社について

JITSUBO は、「優れたペプチド医薬品の提供を通じて幸福社会の実現に貢献する」ことを経営理念に掲げ、革新的な合成・分離精製技術を基盤としているペプチド医薬品研究開発企業です。高品質で経済性に優れたペプチド合成技術 (Molecular Hiving™) 並びに従来にないペプチド誘導体の合成とライブラリー化を可能にするペプチド構造最適化技術 (Peptune™) という当社が開発した独自技術を活かして世界を舞台に幅広く事業展開していくことにより、アンメットメディカルニーズの充足と持続可能な医療への貢献を目指しています。

2014 年 12 月、当社はそーせいグループ株式会社の傘下に加わり、強固な財務基盤と豊富な人材ネットワークを活用して、患者、医療従事者にとって優れた選択肢となるペプチド医薬品の研究開発を進めています。詳細はホームページをご覧ください。 <http://www.jitsubo.com/>

### Heptares 社について

Heptares 社は、広範囲のヒト疾患に関連する 375 個の受容体のスーパーファミリーである G タンパク質共役受容体 (GPCR) を標的とした創薬を行う医薬品開発企業です。同社独自の構造ベースドラッグデザイン技術を利用することにより、臨床的な有用性は証明されているものの、これまで創薬が困難であった GPCR を標的とした医薬品の創出が可能となります。このアプローチ



を使用して、同社はアルツハイマー病、統合失調症、がん免疫療法、片頭痛、依存症、代謝疾患等の治療法を革新する可能性を有する、画期的なパイプラインを構築しています。

Heptares 社は新規開発候補品や技術提供について、既に Allergan 社、AstraZeneca 社、Kymab 社、MedImmune 社、MorphoSys 社、Pfizer 社、Teva 社等をはじめとする大手製薬会社やバイオテクノロジー企業と提携しています。

Heptares 社はそせいグループの 100%子会社です。詳細については、[www.heptares.com](http://www.heptares.com) と [www.sosei.com](http://www.sosei.com) をご覧ください。

### そせいグループ株式会社について

そせいグループはグローバルに医薬品開発に取り組む日本発のバイオ医薬品企業です。そせいグループのビジネスモデルの根幹にあるのは、新規・差別化可能な開発品および基盤技術の探索、それらの非臨床・臨床開発の支援、開発・販売提携等を通じて世界中の患者さんに新たな医薬品を届けることです。

詳細については、[www.sosei.com](http://www.sosei.com) をご覧ください。

<お問い合わせ先>

J I T S U B O株式会社 事業開発部長 望月 昭典

TEL : 042-401-1721